KONICA MINOLTA

適用機種：販売モデルは地域により異なります。

カラー機（CL）	C14010シリーズ、C5080シリーズ、C8100シリーズ
モノクロ機（BW）	---

オペレーションクイックガイド - No. 03B -

印刷ワークフロー
Fieryコントローラー

別冊：Fiery Impose

Ver. 01.01

目次

1 はじめに

2 面付け設定

3 ジョブの保存

4 面付けワークフロー

5 Fiery Hot Folder

6 付録

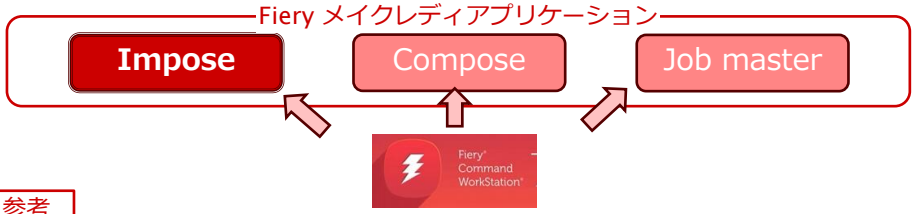




1 はじめに

1-1. Fiery Imposeとは

印刷ジョブの面付け作業を効率化するためのソフトウェアです。
*「面付け」とは、冊子など複数ページある印刷物を作る際に、1枚の印刷用紙に各ページのデータを正しいページ構成になるようレイアウトすることをいいます。

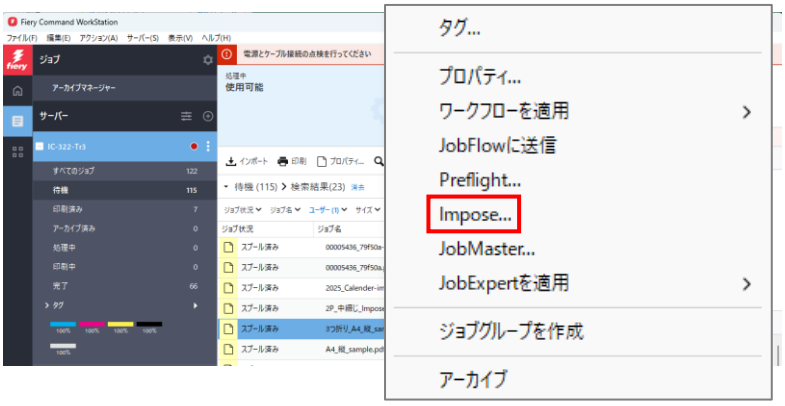


参考

メイクレディとは…
印刷ジョブの面付け、ページ番号付けや詳細な印刷設定など、手間のかかる印刷前の準備や最終工程での編集作業までを効率化すること。

1-2. Fiery Imposeへのアクセス

Command WorkStationでジョブを右クリックし、［Impose］を選択します。



Imposeを選択した際に［Fieryオプション管理］のメッセージが表示された場合は・・・



ライセンスの有効化がされていません。デモモードでの使用も可能ですが、以下の制限があります。

・印刷ジョブにウォーターマークが適用されます。

・サンプル面付けジョブをAdobe PDF形式で保存することができません。

1 はじめに

1-3. Fiery Imposeの有効化

1. Command WorkStationでジョブを右クリックし、［Impose］を選択します。
2. Fieryオプション管理画面で［ライセンスをアクティベート］を選択します。
3. ［アクティベート］をクリックします。



4. 次画面で［続行］を選択します。
5. ライセンスアクティベーションコードを入力し、［続行］をクリックします。



6. 次画面で、再度［続行］をクリックします。
7. ［要求ファイル作成］をクリックし、ファイルを保存します。



8. ブラウザを開き、「licensing.fiery.com」にアクセスします。
9. Fieryライセンス管理画面で［ファイルを選択］をクリックし、手順7で保存したファイルを選択後、［要求ファイルアップロード］をクリックします。



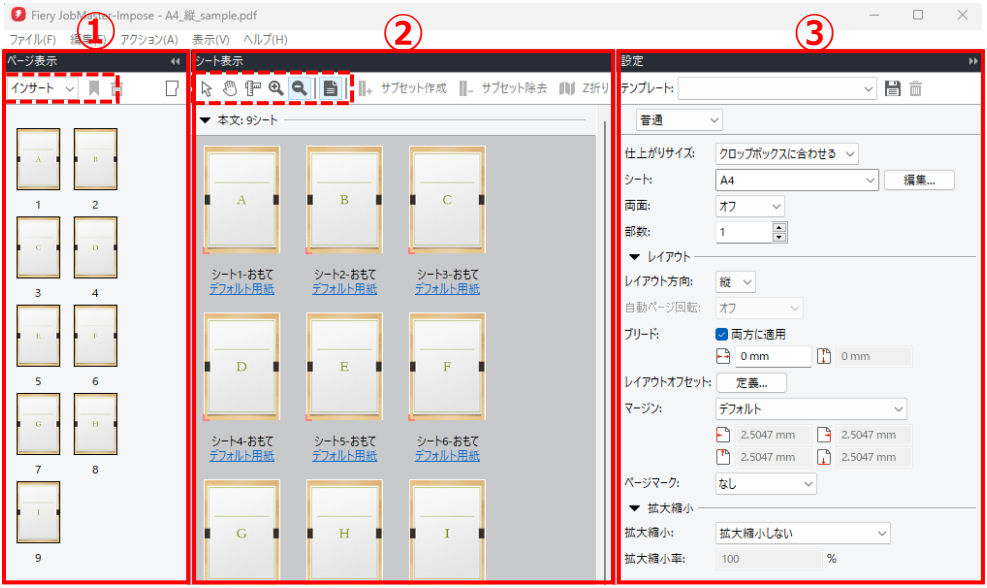
10. 次画面で［続ける］をクリックします。
11. ライセンスアクティベーション画面に戻り、［ファイルを選択］をクリックし、ライセンスファイルを選択後［アクティベート］をクリックします。
12. ［終了］をクリックします。



1 はじめに

1-4. Fiery Impose の画面

Imposeにアクセスすると以下の画面が表示されます。

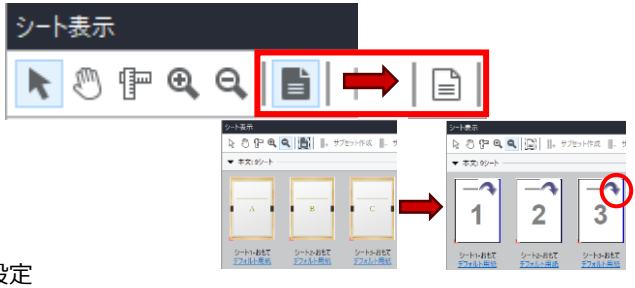


① ページ表示

- ジョブの各ページを一覧で表示します。ページの並べ替えも可能です。
- ［インサート］から、ブランクページや他ジョブのページを挿入できます。
- 不要なページを選択し、ゴミ箱アイコン（🗑）をクリックすることで、選択したページを削除できます。

② シート表示

- 面付けされた状態の各シートを一覧で表示します。
- アイコンをクリックしワイヤーフレーム表示にすることで、各シートを180度回転させることができます。
  全ページを回転：「Ctrl」キーを押したままシート右上の矢印をクリックします。
  片面のみ回転：「Shift」キーを押したままシート右上の矢印をクリックします。



③ 設定

- 面付け設定を指定することができます。（詳細は2章をご覧ください。）

2 面付け設定

2-1. テンプレート

Fiery Imposeでは、デフォルトテンプレートが用意されています。
一部設定を変更することで、カスタムテンプレートを作成することもできます。

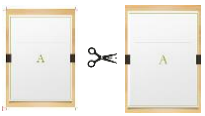
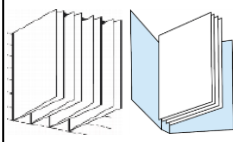
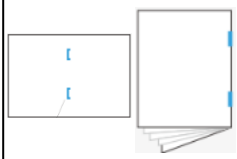
2-1-1. デフォルトテンプレート

デフォルトテンプレートは、以下の3種類に分類されています。

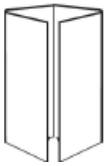
- 普通
- ブックレット
- ギャングアップ



［テンプレート］の矢印をクリックし、テンプレートを選択することでジョブの面付けが自動で設定されます。

普通		
デフォルトテンプレート	1枚のシートに1 ページが印刷されます。	
1ページのフルブリード	1枚のシートに1ページだけが、指定したサイズの端まで印刷されます。 ワンサイズ大きい用紙に印刷し断裁することで、ふちなし印刷ができます。	
ブックレット（冊子）		
2ページの無線とじ	1枚のシートに2ページ分配置し、印刷したシートを二つ折りにして重ね、綴じたときにページが正しい順番に並ぶようにデータが配置されます。 ページ数が4 の倍数でない場合、自動的に白紙のページが追加されます。	
2ページの中とじ	すべてのシートを重ねた状態で二つ折りにし、中心をステープル等で綴じたときにページが正しい順番に並ぶようにデータが配置されます。 ページ数が4 の倍数でない場合、自動的に白紙のページが追加されます。	
4ページの四つ折り	1 枚のシートに4 ページ分（両面8 ページ）配置し、印刷したシートを四つ折りにしたときにページが正しい順番に並ぶようにデータが配置されます。 ページ数が8 の倍数でない場合、自動的に白紙のページが追加されます。	

2 面付け設定

ギャングアップ （1枚の用紙に複数のページをレイアウトして印刷し、あとで断裁して仕分ける方法）		
3ページの巻き 三つ折り	1 枚のシートを3 つに分けて、片側を内側に折り、反対側を被せるように折ったときにページが正しい順番に並ぶようにデータが配置されます。 6 ページまたはページ数が6 の倍数でない場合、自動的に白紙のページが追加されます。	
4ページの内巻き 四つ折り	1枚のシートの片面に4 つの面を配置し、印刷物の両端を内側に折り込み、さらに中央で二つ折りにときにページが正しい順番に並ぶようにデータが配置されます。 ページ数が8 の倍数でない場合、自動的に白紙のページが追加されます。	
4ページのZ折り	1枚のシートを4つに分け、谷折り・山折りにして重ねたときにページが正しい順番に並ぶようにデータが配置されますます。 ページ数が8 の倍数でない場合、自動的に白紙のページが追加されます。	

2-1-2. カスタムテンプレート

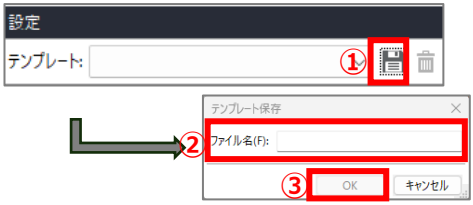
■ カスタムテンプレートの作成

デフォルトテンプレートの設定を一部変更することで、カスタムテンプレートを作成できます。
設定の詳細については、「2-2. 面付け設定」を参照してください。

■ カスタムテンプレートの保存

カスタマイズしたテンプレートを保存することで、再利用が可能になります。

1. 面付け設定完了後に［テンプレート保存］をクリックします。
2. ファイル名を入れます。
3. ［OK］をクリックします



■ カスタムテンプレートの削除

カスタムテンプレートを削除できます。

1. ［テンプレート］の矢印をクリックし、削除したいテンプレートを選択します。
2. 削除（ 🗑 ）をクリックします。

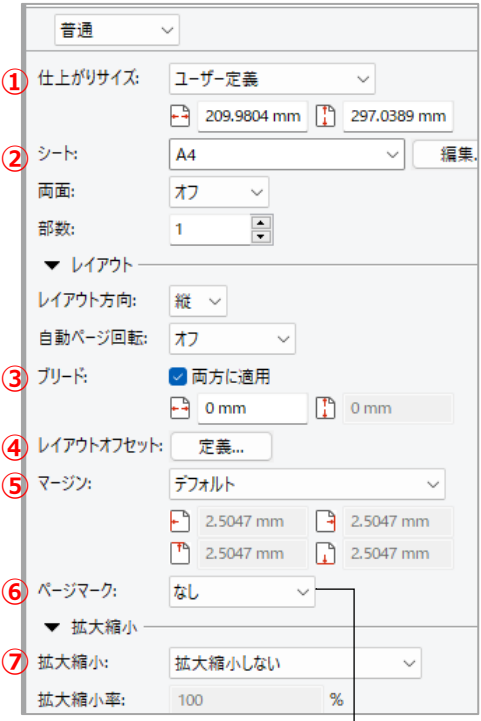
2 面付け設定

2-2. 面付け設定

面付け設定は、［普通］［ブックレット］［ギャングアップ］に分類されています。

2-2-1. 普通

［普通］は1シートに１ページをレイアウトします。［普通］で定義可能な項目は［ブックレット］［ギャングアップ］でも共通です。



[ページマーク：定義]



① 仕上がりサイズ
最終的な印刷物のサイズを指定します。

② シート
使用する用紙のサイズを指定します。［編集…］をクリックすると、坪量、用紙種類などの属性を定義できます。

③ ブリード
仕上がりサイズよりも外側に印刷領域を広げるための設定です。ブリードを定義し、ワンサイズ大きい用紙に印刷、断裁することで、ふちなし印刷が可能です。

④ レイアウトオフセット
レイアウトの仕上がりサイズを変更せずに、シート上のレイアウト位置を指定方向に移動できます。位置を微調整したいときに使用します。

⑤ マージン
上下左右の余白（シートの端からオブジェクトの端までの距離）を調整できます。シートのどの辺にも十分な間隔が空くようにできます。

⑥ ページマーク
矢印をクリックし［定義…］を選択することで、トリミングマークやシート情報を定義することができます。
また、保存（💾）をクリックして保存することで、［ページマーク］メニューから選択したときに再利用が可能になります。

⑦ 拡大縮小
次ページをご覧ください。

2 面付け設定

⑦　拡大縮小
仕上がりサイズで［ユーザー定義］を選択した場合、ページ内の画像の拡大縮小率を指定できます。

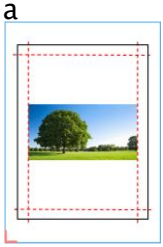
参考

仕上がりサイズ：
最終的な印刷物のサイズです。用紙の端まで印刷することはできません。
（上下左右数ミリは印刷されません。）
ブリードサイズ：
印刷物の仕上がりサイズよりも外側に背景や画像を拡張（塗り足し）したサイズです。これにより用紙の端まで印刷でき、フチなし印刷が実現できます。
フィル：
画像の縦横比を保ったまま用紙全体に引き伸ばして表示します。画像の一部がトリミング（カット）されることがあります。

仕上がりサイズ：
ブリードサイズ：

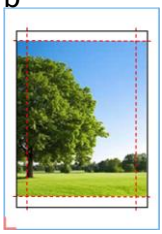
a.　均等に仕上がりサイズに合わせる
画像全体が仕上がりサイズに収まるよう拡大します。
余白が出る可能性がありますが、画像全体を表示します。

a



b.　均等に仕上がりサイズをフィル
仕上がり領域に合わせて、縦横比率を保って画像を拡大します。領域を満たすことを優先するため画像の一部が切れることがあります。

b



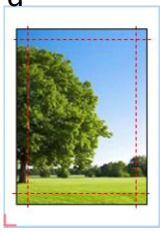
c.　均等にブリードサイズに合わせる
画像全体がブリードサイズ内に収まるように拡大します。
余白が出る可能性がありますが、画像全体を表示します。

c



d.　均等にブリードサイズをフィル
ブリード領域に合わせて画像が比率を保って拡大します。
仕上がりサイズより広い範囲をカバーするため、より大きく画像が切れます。

d



2 面付け設定

2-2-2. ブックレット

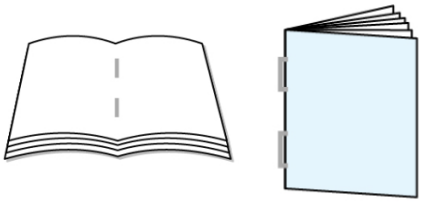
ブックレットでは、以下３種類のレイアウトが選択できます。

■ **中とじ（左/右/上）**

全ての用紙を重ねて二つ折りにし、中心部分をステープルで綴じます。

面付け → 印刷 → 製本





■ **複合中とじ（左/右/上）**

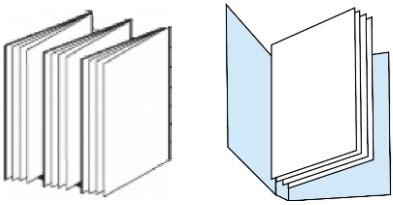
複数の中とじブックレット（サブセット）を重ねて糊付けし、異なるジョブとして印刷された表紙でくるみます。

（サブセット数は［設定-サブセットサイズ］で指定できます。）

面付け → サブセット印刷 → 糊付け* → 製本*

*オフライン後処理機で糊付け、製本します。





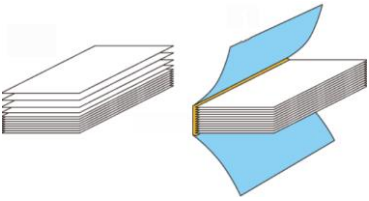
■ **無線とじ（左/右/上）**

印刷された本文を一枚ずつ重ね、背の部分を糊付けし、異なるジョブとして印刷された表紙でくるみます。

面付け → 本文印刷 → 糊付け* → 製本*

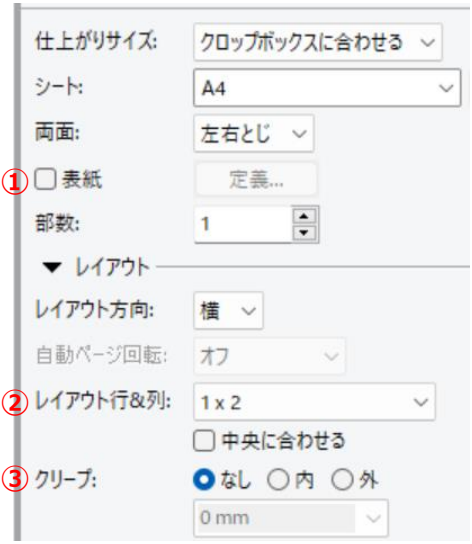
*オフライン後処理機で糊付け、製本します。





2 面付け設定

ブックレットでは、［普通］で設定する項目の他に製本レイアウトのための項目が追加されています。



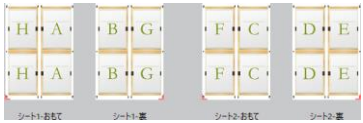
① 表紙

ブックレットの［中とじ］やギャングアップの［反復］レイアウトの場合、表紙の定義が可能です。チェックを入れると［表紙用紙］設定画面が表示されます。



・各ページ：データの中のページを表紙に指定します。
・挿入：インサーターなどにセットされた印刷済み用紙を表紙に指定します。

② レイアウト行&列

1x2： ２UPのブックレット用レイアウトです。	
2x2： 4つ折り面付け用レイアウトです。	
2x2反復製本レイアウト： 2部まとめて印刷する面付けレイアウトです。中央で断裁すると、1回の印刷で2部作成できます。	

③ クリープ

［中とじ］や［複合中とじ］の場合、ページ数が増えると、用紙の厚みにより内側のページが外側よりも飛び出してしまいます。このページ毎のズレを補正するために設定します。

［内］を選択した場合

最も外側のシートを基準にして、内側のシートになるほど、ページ内の画像が中央寄りに移動します。

［外］を選択した場合

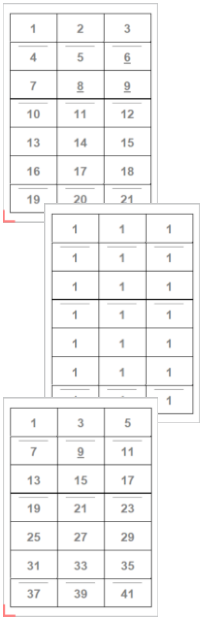
最も内側のシートを基準にして、外側のシートに進むほど、ページ内の画像が端寄りに移動します。



2 面付け設定

2-2-3. ギャングアップ

ギャングアップでは以下のレイアウトが選択できます。



■ 唯一

- １枚のシートに複数ページの画像を配置します。
- インデックスプリントとして利用できるほか、名札や会員証などの印刷に使用します。
- ［ギャングアップ］の［唯一］の場合のみ、［ページ順］が指定可能です。

■ 反復

- 1枚のシートに同じ画像を繰り返し配置します。
- 名刺やチケットなど同一内容のジョブを大量印刷するときに、最もよく使用します。

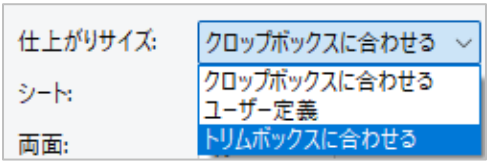
■ 唯一–丁合い

- 印刷されたシートを断裁し、ジョブを積み重ねたときに、正しいページ順になるように配置します。
- ページ数の多い製品マニュアルなどを、より少ない用紙で印刷して生産性を上げる場合に使用します。

参考

丁合とは・・・
数種類の印刷物を1枚ずつ順番にとり、1セットの束にすることです。

ギャングアップでは、仕上がりサイズで［トリムボックスに合わせる］が選択できます。
小サイズのジョブ（名刺、はがき、チケットなど）を、印刷アイテム数が最大になるようにサイズの大きなシートに自動でレイアウトする機能です。



【選択基準】

レイアウトを手動で行いたい場合：
［クロップボックスに合わせる］を選択する。

レイアウトを自動で行いたい場合：
［トリムボックスに合わせる］を選択する。

3 ジョブの保存

3-1. 面付けジョブとして保存

面付けジョブとして、「.dbp形式」でFieryサーバーに保存します。その後、ジョブを再度開いて変更することができます。

① ［ファイル］メニューから［保存］を選択します。

② 必要に応じてジョブ名を変更します。

③ ［統合］チェックボックスのチェックを外します。

④ ［OK］をクリックすると、Fieryサーバーに保存され、ジョブリストに表示されます。



3-2. 統合PDFとして保存

ジョブをPDFとしてFieryサーバーやローカルディスクに保存します。保存された面付け済みPDFは面付け機能がないプリンターでも印刷できます。また、お客様に校正のための送付も可能です。

① ［ファイル］メニューから［保存］を選択します。

② 保存場所の矢印をクリックし、以下のいずれかを選択します。
- ジョブをFieryサーバーに保存する場合は待機を選択します。
- ジョブをローカルディスクに保存する場合は保存場所で保存先を指定します。

③ ［統合］チェックボックスにチェックを入れます。

④ ［設定］をクリックすると、［PDF出力設定］画面が表示され、PDFのセキュリティ設定等ができます。

⑤ ［OK］をクリックします。

⑥ ［はい］をクリックすると、任意の場所に保存されます。



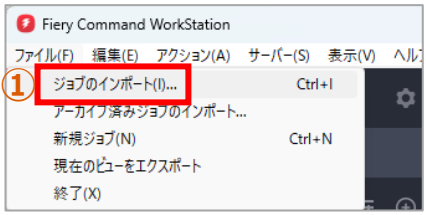
4 面付けワークフロー

4-1. 名刺を印刷してみよう

55mm × 91mmの名刺原稿を、A3シートに面付けし印刷します。

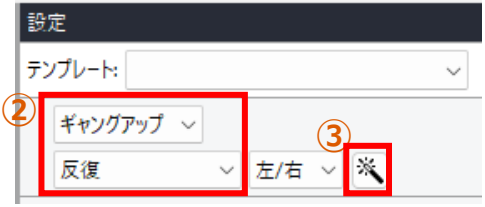
① ジョブのインポート

Command WorkStationにジョブをインポートします。
ジョブを右クリックし、Imposeを開きます。



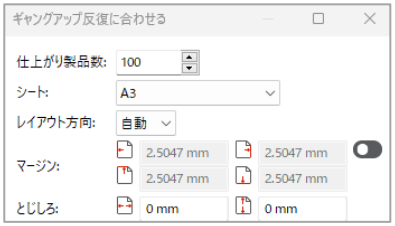
② レイアウトの適用

アクションメニューから［ギャングアップ］［反復］を選択します。



③ オプションの設定

必要に応じて設定します。
［ギャングアップ反復に合わせる］をクリックすると、自動で設定できます。





参考

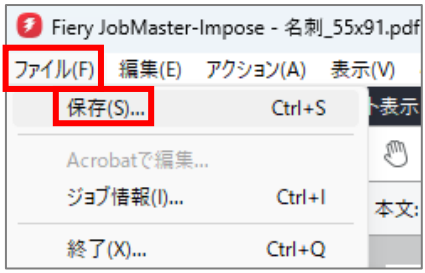
［ギャングアップ反復に合わせる］は、［反復］選択時に表示されます。
名刺など同じ内容のジョブを大量印刷する場合に、効率よく用紙を使用できるよう自動でレイアウトする機能です。
例えば名刺の仕上がり製品数を設定することで、印刷に必要なシート数が自動で算出されます。このシート数の情報は、ジョブプロパティの部数にも反映されます。

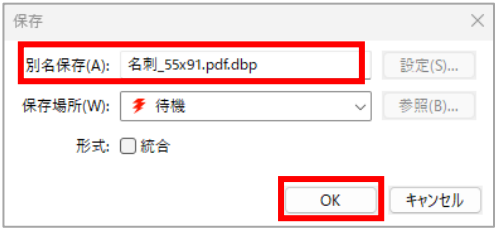
仕上がりサイズで［トリムボックスに合わせる］を選択した場合は、印刷部数の自動計算がされません。ユーザー自身での印刷部数の計算、及び部数入力が必要です。

4 面付けワークフロー

④ 面付けジョブの保存

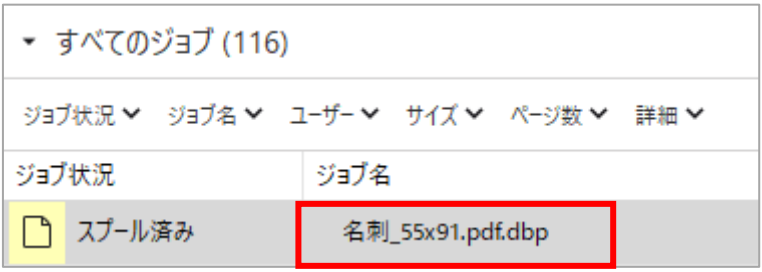
［ファイル］メニューから［保存］を選択します。
必要に応じてジョブ名を変更し、［OK］をクリックします。





⑤ Imposeの画面を閉じる

.dbpという拡張子付きでFieryサーバーに保存されます。



⑥ 印刷

「.dbp」拡張子付きジョブを選択し、［印刷］をクリックします。



5 Fiery Hot Folder

面付けテンプレートを作成し、それをHot Folderに関連付けることで、アプリを起動することなく面付けを含む印刷プロセスを自動化できます。

① 面付けレイアウトの作成

面付けレイアウトを作成します。
（2章参照）

② カスタムテンプレートの保存

テンプレート横の保存アイコンをクリックし、名前をつけて保存します。
（２章参照）

③ Fiery Hot Folderの作成

① ［アプリおよびリソース］タブで［Fiery Hot Folders］をクリックします。

② Fiery Hot Folderコンソール画面で［＋新規］をクリックします。

③ ［ホットホルダー設定］画面で各設定をします。設定の詳細については、「No.03B-110 小冊子を印刷してみよう(Fiery Hot Folders)」をご覧ください。

④ ホットフォルダー設定

［ジョブのプロパティ］の矢印をクリックし［定義…］を選択します。

⑤ ジョブのプロパティ

① ［レイアウト］タブで［Impose］を選択します。

② ［テンプレート］の矢印をクリックし、②で保存したテンプレートを選択します。

③ OKをクリックします。

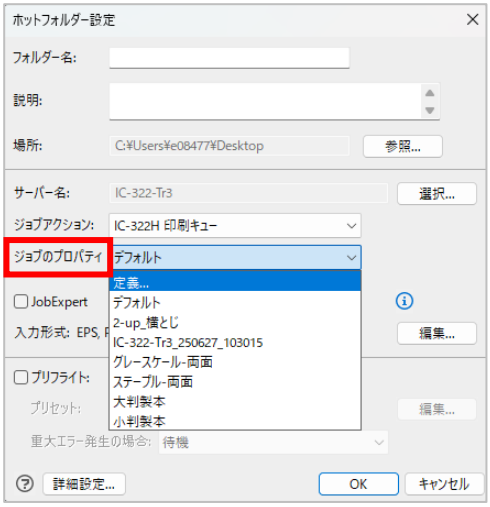
⑥ 面付け/印刷

ジョブをHot Folderにドラッグすると、自動で面付け、印刷されます。

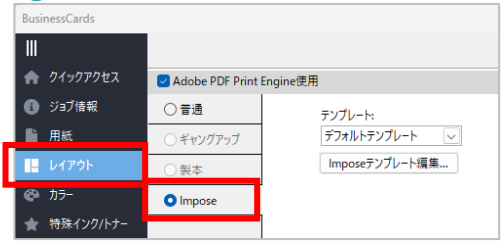
③



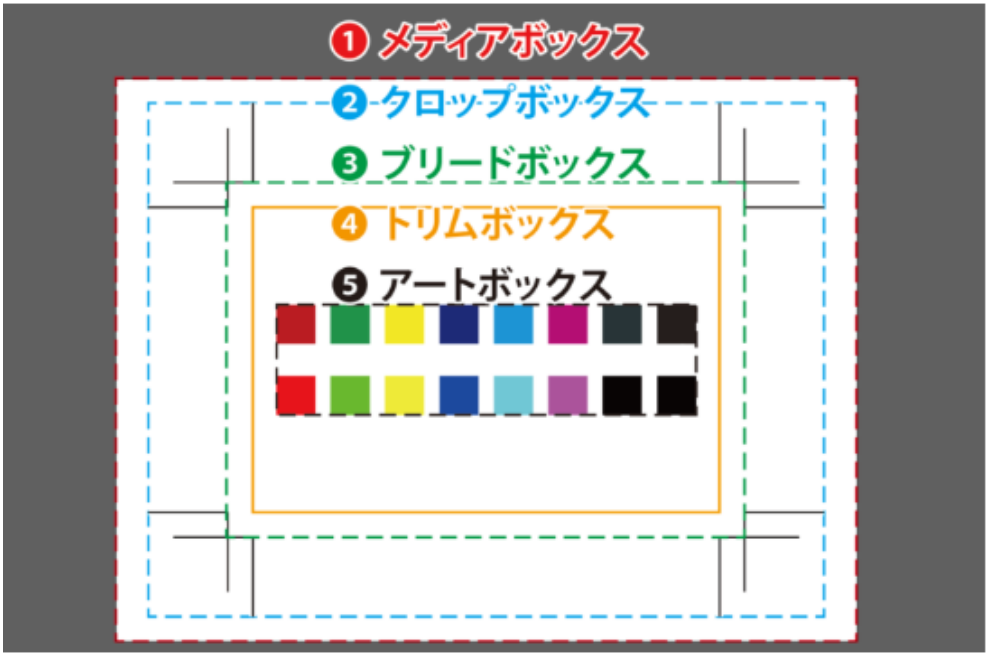
④



⑤



6 付録



■ **メディアボックス**
そのページで描画できる「紙全体」のサイズ。

■ **クロップボックス**
実際に表示される領域。例えば、PDF文書をAdobe Acrobatで表示するときのページサイズです。
ページ コンテンツに加えて、プリント マーク、断裁マーク、カラー線などが含まれます。

■ **ブリードボックス**
ブリードとは、仕上がりサイズの領域を超える部分に塗り足しをすることです。ブリードを使用すると、印刷して断裁した時にページの端まで確実に印刷されます。
塗り足しを含んだサイズです。

■ **トリムボックス**
仕上がりサイズです。（実際の印刷物のできあがりサイズ）

■ **アートボックス**
ページ内のグラフィックオブジェクトのサイズのことで、空白も含みます。

© 2025 KONICA MINOLTA, INC.